

興行取締規則

- 第一條 本則ニ於テ興行ト稱スルハ演劇角力活動寫真輕業講談浪花節等公衆ノ觀覽若ハ聽聞ニ供スルモノヲ謂フ
 - 第二條 興行場ヲ建設セムトスル者ハ興行ノ種別興行場建設ノ場所四隣平面圖建物配置圖(縮尺百分ノ一)同平面圖(縮尺五十分ノ一)断面圖(縮尺五十分ノ一)同外面圖(縮尺五十分ノ一)及構造並ニ材料ヲ詳記シタル仕様書入場定員落成期日ヲ具シ所轄警察署ヲ經由シ道知事ニ願出テ許可ヲ受クヘシ
 - 第三條 興行場ノ増築改築又ハ大修繕ヲ爲サムトスルトキ亦同シ
 - 第四條 興行場ハ新築増築改築若ハ大修繕ヲ竣リタル後所轄警察署長ニ届出テ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス
 - 第五條 興行場ヲ讓受ケムトスル者ハ讓渡人連署ノ上所轄警察署ヲ經由シ道知事ニ願出テ許可ヲ受クヘシ
 - 第六條 所轄警察署長ハ危險豫防其ノ他公安若ハ衛生上必要ト認ムルトキハ興行場主ニ對シ適當ノ施設ヲ命シ又ハ使用ヲ制限スルコトヲ得
 - 第七條 假興行場ヲ建設セムトスル者ハ第二條ニ準シ所轄警察署長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ
 - 第八條 第三條第五條ノ規定ハ之ヲ假興行場ニ準用ス
 - 第九條 興行ヲ爲サムトスル者ハ左記各號ノ事項ヲ具シ所轄警察署長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ其ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
- 一 興行者住所氏名生年月日
 - 二 興行ノ場所
 - 三 興行ノ種別藝題脚本又ハ筋書
 - 四 興行期間及開閉時間
 - 五 木戸錢席料其ノ他名義ノ如何ニ拘ラス料金ヲ徵スル場合ハ其ノ金額
 - 六 興行ニ火藥其ノ他爆發物ヲ使用スルトキハ其ノ貯藏及使用方法
 - 七 興行ニ電氣以外ノ燈火ヲ用フルトキハ其ノ種別及箇數
 - 八 藝人ノ免許證又ハ鑑札寫
 - 九 慈善又ハ救濟ヲ目的トスル興行ニ在リテハ醜集金ノ處分方法收支見積概算書
- 前項第九號ノ興行ヲ終リタルトキハ收支計算書ニ證據書類ヲ添付シ三日内ニ許可ヲ受ケタル警察署長ニ届出承認ヲ受クヘシ
- 第八條 興行時間ハ午前八時ヨリ午後十時限リトシ一興行ハ九時間以上ニ互ルヘカラス
- 第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル興行ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 犯罪ヲ誘致挑發スルノ虞アルモノ
 - 二 卑猥又ハ慘虐ニ互ルモノ
 - 三 妄ニ時事ヲ諷シ又ハ人ノ名譽信用ヲ害シ若ハ政談ニ紛ハシキモノ
 - 四 前各號ノ外公安又ハ風俗ヲ害スル虞アルモノ
- 前項各號ノ一ニ該當スルモノト認ムルトキハ所轄警察署長ハ興行ノ許可ヲ取消シ又ハ臨監警察官ニ於テ其ノ興行ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得
- 第十條 興行者ハ左ノ各號ノ事項ヲ遵守スヘシ
- 一 定員外ニ入場セシメサルコト
 - 二 場内ニ客ノ容貌ヲ容易ニ識別シ得ヘキ程度ノ不滅燈ヲ點スルコト
 - 三 名義ノ如何ヲ問ハス射倂ノ方法ヲ以テ客ヲ誘引セサルコト
 - 四 煙草盆火鉢座蒲團其ノ他ノ料金又ハ價格ヲ客ノ見易キ場所ニ揭示スルコト
 - 五 所轄警察署長ノ特ニ命シタル事項
- 第十一條 藝人ハ興行中客席ニ出入スヘカラス
- 第十二條 觀聽客ハ興行中左ノ各號ノ事項ヲ爲スヘカラス
- 一 演伎中放談高話又ハ喧噪ニ涉リ他ノ妨ヲ爲スコト
 - 二 演伎中帽子ヲ冠リ又ハ傘ヲ開シテ他ノ妨ヲ爲スコト
 - 三 頰冠リ袒裼其ノ他不體裁ノ所爲アルコト
 - 四 樂屋ニ出入シ又ハ花道舞臺ニ上ルコト
- 第十三條 所轄警察署長ハ衛生上特ニ必要アリト認メタルトキハ場内ニ於ケル飲食物ノ販賣ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得
- 第十四條 第二條乃至第四條及第六條乃至第十二條ヲ犯シ若ハ第五條第十三條ノ命令又ハ處分ヲ遵守セサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス
- 第十五條 興行場主ハ興行場ニ關シ興行者ハ興行ニ關シ家族若ハ雇人其ノ他從業者ノ所爲ニシテ前條ニ該當スルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス
- 第十六條 興行場主又ハ興行者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ第十四條ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス

附則

- 第十七條 本則施行前ニ許可ヲ受ケタル興行場ハ其ノ區別ニ從ヒ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス
- 第十八條 本則ハ大正十一年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府威鏡北道告示第四十六號
炭疽豫防ノ爲獸疫豫防令第十一條ニ基キ左記地域ニ於テ炭疽豫防接種液ノ接種ヲ施行ス

大正十一年八月三十日 朝鮮總督府威鏡北道知事 齋藤 禮三

記
接種ヲ受クヘキ獸類 施行地域
第一苗 第二苗
施行月日

牛 馬 吉州郡長白面龍潭洞一團
自九月一日 自九月十一日
至九月五日 至九月十五日

朝鮮總督府威鏡北道告示第四十七號
獸疫豫防令第十一條第二項ニ基キ左記期間内獸類ノ移動ヲ禁止ス

大正十一年八月三十日 朝鮮總督府威鏡北道知事 齋藤 禮三

獸類 記
期 間 地 域
牛 馬 自九月一日 至九月五日 吉州郡長白面龍潭洞一團

○敍任及辭令

○大正十一年八月十七日

朝鮮銀行理事ヲ命ス 正四位勳二等 鈴木 稔

○大正十一年八月二十五日

朝鮮總督府參事官 矢鍋永三郎

朝鮮民事令及民籍法改正調査委員ヲ命ス

朝鮮總督府參事官 張問源四郎

朝鮮民事令及民籍法改正調査委員ヲ免ス

朝鮮總督府技師 武藤 備雄

○大正十一年八月二十九日

工事實施狀況視察ノ爲七日間ノ豫定ヲ以テ鎮南浦及新義州ニ出張ヲ命ス

○大正十一年九月一日

朝鮮總督府參事官 萩原 彦三

大正十一年施行普通試験臨時委員ヲ命ス

浦鹽斯德へ出張ヲ命ス
○大正十一年九月二日
江原道在勤ヲ命ス

正 誤

前職本欄大買買市ノ辭令ハ新

○彙報

○官廳事項

官吏

○官吏發著

竹内朝鮮總督府逓信局長

朝鮮總督府事務官 湯村辰二郎

朝鮮總督府事務官 澤 慶治郎

橋本朝鮮總督府勸業模範場長

朝鮮總督府稅關長 松井房治郎

元山及清津分掌局區内並發賣、伏木、東京市へ出張ヲ命
セラレ八月三十日出發

東京市へ出張ヲ命セラレ八月三十一日出發

釜山へ出張中ノ處八月三十一日歸著

出府中ノ處八月二十九日歸著

出府中ノ處八月三十日歸著

○調査及報告

司法、警察及監獄

○裁判所及檢事局取扱事件數 六月中朝鮮總督府裁判所及檢事局ニ

於テ取扱ヒタル事件數左ノ如シ

民事事件

新受十一萬四千二百二十九件、舊受七千四百六十九件、合計十二萬一千五百九

十八件ニシテ終局シタルモノ十一萬四千四百八十一件、終局セサルモノ七

千七百七十七件之ヲ前月ニ比スレハ新受二萬七千七百三十九件、舊受百十六件、

終局シタルモノ二萬七千五百三十三件、終局セサルモノ三百五十二件ヲ各減少

セリ

第一審判決百ニ對スル控訴ノ比例ハ控訴ヲ爲シタルモノ十件、控訴ヲ爲

ササルモノ九十件、控訴判決ノ結果ハ控訴ヲ棄却シタルモノ六十一件、原

判決ヲ變更若ハ廢棄シタルモノ三十九件トス

第二審判決百ニ對スル上告ノ比例ハ上告ヲ爲シタルモノ十九件、上告ヲ

爲ササルモノ八十一件、上告判決ノ結果ハ上告ヲ棄却シタルモノ九十四